



絆 きずな



令和8年1月 発行

「あけましておめでとうございます」

新しい年が始まりました。冬休みはゆっくり休めたでしょうか。またはいつも通り部活動に学習にと忙しかったでしょうか。今年の箱根駅伝の優勝校である青山学院大学の原晋監督は、「オフも休みという練習です。」と言ったそうですね。しっかりと心の休養や体のリフレッシュを行なうことも次の活動に向けての大変な一歩なのでしょう。2026年は「午年」です。午は「まっすぐ進む」という意味もあるとか。時には道草したり、休憩したりしながらも、一歩ずつ前に進んでいく、そんな一年になるといいですね。



音は消えても響きは心に残る

下野 尚子 先生

演奏が終わると音は空気のように消えてしまいます。でも、その演奏に込めた気持ちや、演奏するまでの努力、仲間と作った瞬間の景色は心に残り続けます。日常生活でも同じことが言えるのではないでしょうか。今日あなたが見せた優しさや頑張りは誰かの心に響き残るでしょう。

毎日の小さな努力は必ず素晴らしい響きを残すことが出来るはずです。

迷ったら厳しい道を選べ

荒山ゆきの 先生

中学校の恩師が私にかけてくれた言葉です。中学校を卒業した後、高校生になってからもこの言葉の重さを実感する場面が何度もありました。部活動でつらい練習を続けるかどうか迷ったとき、勉強で難しい単元に向き合うか避けるか迷ったとき、この言葉が背中を押してくれた気がします。厳しい道を選ぶのは勇気がいますが、その先には必ず成長や達成感が待っています。

迷う瞬間は誰にでもあります。でも、少しだけ勇気を出して“あえて大変なほう”を選べたら、今よりも少し強い自分に出会えます。挑戦する気持ちを忘れず、自分の未来を自分自身で創り上げていってください。



スクールカウンセラーについて

みなさんの悩みを相談できる機会を設けています。

場所は本校南舎1階の「ほっとプレイス（教育相談室）」です。

【今後の予定】

1月 22日(木) 16:20~18:20

※予約制です。担任または相談室に気軽に声をかけてください。